



逆瀬台小学校区
10,000人のまちづくり

ゆずり葉だより

編集・発行 / 逆瀬台小学校区まちづくり協議会 (ゆずりはコミュニティ) 事務局・広報 (発行部数) 4,200部
(住所) 〒665-0024 宝塚市逆瀬台6丁目1番1号 宝塚市立逆瀬台小学校内
(Eメール) yuzurihacom@a.zaq.jp (連絡先) 石谷 TEL 20-5054
(掲示板) http://8507.teacup.com/yuzuriha/bbs (自由投稿版)
(ブログ) http://www.voluntary.jp/weblog/myblog/230
(ホームページ) http://yzrh.exblog.jp/ (TEL/FAX) 0797-73-8839

健康で
明るく
楽しい
まちづくり



ゆずり葉コミュニティ
ブログ・QRコード

夏 第104号

令和3年度 定例役員会(総会)に ついて



定例役員会風景 (令和2年度)

令和3年度定時役員会(総会)は、コロナにより開催を自粛し、議案報告事項2件と議案3件について書面表決を行い、全員賛成により原案通り承認されました。なお、活動報告、会計報告については、前号をご覧ください。
(なお、下記役員名簿は、4月1日時点の総会承認役員名簿を5月末までに変更になった役員についても加味し、6月6日の役員会承認された方々でございます。)

逆瀬台小学校区まちづくり協議会(ゆずり葉コミュニティ)

役員・5役・委員名簿 (令和3年5月末現在)

《令和3年度 五役》

相談役	井篁暁雄
会長	石谷清明
事務局長	濱崎史孝
活動支援局長	中村恭典
特命部長	久保英信

《令和3年度 監査役員》

監査役員	遠藤捷爾
------	------

《令和3年度 事務局委員》

広報委員	篠原和豊
書記委員	浅田憲哉
経理委員	内田佑子
施設委員	中村一雄

《令和3年度 活動局委員》

活動委員	西澤芳正
"	小橋光子
"	大迫規子
"	清水妙子
"	田辺輝子
"	外山算彦
"	千秋良雄
"	久保英信
"	石谷清明
"	内田佑子

《令和3年度 役員名簿》

自治会及びマンション管理組合	役員名
逆瀬台自治会	久保英信
逆瀬台自治会	浅田憲哉
光ガ丘自治会	中村恭典
光ガ丘自治会	西澤芳正
阪急逆瀬台アヴェルデ自治会	大迫規子
阪急逆瀬台アヴェルデ自治会	山崎 裕
逆瀬川グリーンハイツ自治会	濱崎史孝
逆瀬川グリーンハイツ自治会	柳瀬邦雄
阪急青葉台自治会	光村正生
阪急青葉台自治会	榎本 正
逆瀬川マンション自治会	山本 勝
宝梅園団地自治会	田主宇弘 <small>(たかひろ)</small>
宝塚西山住宅自治会	木村耕一
ゆずり葉台自治会	加藤千絵
阪急逆瀬台マンション自治会	石谷清明
逆瀬台2丁目自治会	中村一雄
逆瀬川パークマンション自治会	常松 勝
逆瀬台住宅管理組合	小松 勉
シャンティ逆瀬川管理組合	榎原周二

まちづくり協議会

「アナタもワタシも「まち協」の一員です。」

「まちづくり協議会」(まち協)の構成員は、その地域のすべての住民と、関係者(自治会、事業所、学校、民生委員児童委員など)の人たちです。(会員制ではありません。)

「まちづくり協議会」とは?何でしょう?

宝塚市では、1993年からコミュニティ課を設置し市の主導で、おおむね小学校区(人口1万人程度)ごとに20の「まちづくり協議会」を作りました。地域の中の様々な個人や団体がつながり、地域の特性を生かして、自分たちの「まち」を良くする組織が「まちづくり協議会」です。

「まちづくり協議会」だからできること

※地域のことを、地域住民で決めることができます。
※地域の事情にマッチした取り組みができます。
※地域住民が必要と思う課題すべてに取り組みます。(各



20のまちづくり協議会では、それぞれの地域の「まちづくり計画書」を作成し、より良いまちにするための課題解決を進めます。

※数人ではできないことも、できることがあります。
※住民だけで解決できない課題は市役所と一緒に取り組みます。

(参考)宝塚市のまちづくり協議会ガイドライン

「ゆずり葉コミュニティ について」



「逆瀬台小学校区まちづくり協議会」 (通称:ゆずり葉コミュニティ)の発足

宝塚市の主導により、1993年から1995年にかけて準備委員会が開催され、1995年6月24日に発足したのが、市内で9番目のまちづくり協議会である「逆瀬台小学校区まちづくり協議会」(通称:ゆずり葉コミュニティ)です。

「ゆずり葉コミュニティ」地域の現状と課題

2001年6月22日に開催された「まちづくり協議会者会議」において、「市民と行政の協働によるまちづくりの策定について」の議題の中で、地域ごとの「まちづくり計画」策定作業をするとの行政からの報告があり、当地域では、全世帯の合意のもと、他の「まちづくり協議会」に先駆けて、2003年12月6日「まちづくり計画」具案を宝塚市に提案しました。そして2020年3月に「まちづくり計画」見直し作業が完了しています。

「ゆずり葉コミュニティ」地域の現状と課題

「ゆずり葉コミュニティ」地域の人口は、4103世帯、8429人(2019年3月時点)で、65歳以上の高齢化率が、45%を越え、市内でも西谷地域と並んで、超高齢地域であるにも関わらず、要介護要支援認定率は、18%と市内でも低く、元気な高齢者が多い地域です。

また、山あり川ありの自然豊かな好ましい閑静な住宅地ではありますが、ほとんど急な坂道が多く、足の悪い方や高齢者の移動が大変な地域です。そして、地域内には、逆瀬川駅と西宮方面を結ぶ「県道明石神戸

宝塚線」があり、2018年に盤滝トンネルが無料になったため、車の交通量が急激に増え、ハイカーやサイクリング客も多く、安全策が必要です。

「ゆずり葉コミュニティ」の連携と協働の組織

「ゆずり葉コミュニティ」は、他団体との連携と協働の強化、とりわけ「スポーツ21」や、「逆瀬台小学校」「PTA(ゆずりは会)」「民生委員児童委員」「社会福祉協議会」「逆瀬川地域包括支援センター」などの活動団体と多様化した協働の場を拡げ、12自治会、2管理組合を中核とした、議決機関である「役員会」と、執行機関である「事務局」「活動支援局」による2局体制を

効果的に機能させ、地域コミュニティの創造的形を推進していきます。そして、広報紙「ゆずり葉だより」や、ポータルサイト(20の「まち協」のホームページ)によって、すべての住民の身近な存在として繋がっています。

